

# 市長提案説明要旨

令和3年2月26日

令和3年第1回鹿嶋市議会定例会の開会にあたり、市政運営に関する所信の一端と、新年度の事業概要並びに提出いたしました議案の説明を申し上げます。

## 《はじめに》

### 《コロナの情勢》

新型コロナウイルス感染症につきましては、国内で初の感染者が確認されてから、一年以上が経過いたしました。この間、県や潮来保健所、鹿島医師会等、関係機関の方々の御協力をいただきながら、鹿行地域PCR検査センターの開設・運営や、インフルエンザとの同時流行に備えた医療提供体制の確保など、大変な中にもかかわらず御協力いただいている医療機関に対しまして、市では各種支援金を設けるなどしながら医療体制の整備を図ってきております。

感染者数は、11月以降、全国的に増加傾向となっておりますが、今年に入り、急速な感染拡大がみられた都府県に緊急事態宣言が発出されました。また、茨城県におきましても、1月15日に過去最多の感染者数を更新し、県内各所でクラスターが発生するなどの状況を踏まえ、県独自の緊急事態宣言を発令しました。医療体制の逼迫が懸念されることから一度は延長されたものの、今週22日をもって解除になっております。

鹿嶋市の感染者数でございますが、残念ながらジワリジワリ増えている状況にあり、2月24日現在、103人となっております。引き続き、潮来保健所や医療機関と連携して情報の把握に努め、最大限の警戒をもって感染拡大の防止や市民の皆様への協力要請を図ってまいります。

このような中、新型コロナウイルス感染症の発症予防・重症化予防に期待がかかるワクチン接種につきましては、迅速かつ適切な実施を担う組織として、1月15日、健康福祉部内に「新型コロナウイルスワクチン接種対策プロジェクト・チーム」を設置し、各種の協議・調整やクーポン券の作成準備を始めております。

接種体制は、カシマスポーツセンターや大野ふれあいセンターなどでの集団接種と、市内医療機関での個別接種の併用を考えております。今後、接種時に必要なクーポン券等を郵送いたしますが、その時期に合わせてコールセンターを設け、市民の皆様からの相談に対応していくほか、多くの市民の皆様が、納得してワクチンを接種していただけるよう、有効性・安全性・副反応等について、正確な情報発信に努めてまいります。

引き続き、鹿島医師会の先生方の御支援、御協力をいただきながら、国のスケ

スケジュールに沿って円滑に進めていけるよう鋭意準備を進めてまいります。

PCR検査センターにつきましては、昨年5月11日の開設以来、鹿行地域の医療機関や潮来保健所の御尽力により、2月19日現在、3,155件（うち鹿嶋市民860件）と、多くの検査を実施していただいております。

検査体制の確保は、感染拡大防止に欠かせない対策の一つです。新型コロナウイルス感染症の収束がいまだ見通しが立たない中において、鹿島医師会の松倉会長からは4月以降についても継続して開設していただけるとの大変心強いお言葉をいただいております、感謝の念に堪えません。

市といたしましても、今後も円滑に検査が実施できるよう、鹿行5市の協力体制のもと、引き続き支援をしてまいります。

県独自の緊急事態宣言の発令を受けた本市の事業者支援策といたしましては、1月28日付けで予算総額2,190万円の専決補正をさせていただき、鹿嶋市新型コロナウイルス感染症対策協力金第3弾を実施いたしました。

今回は、「いばらきアマビエちゃん」の登録が県の条例に義務付けられていない業態の事業者に加え、1月18日から2月7日までの間の県からの営業時間短縮要請に協力した飲食店事業者など、感染予防対策を実施する事業者を広く支援するものとしております。

今後におきましても、感染状況や、国・県の動向に注視しながら、さらなる経済活性化策などを検討し、本市の経済を下支えする取り組みを進めてまいります。

### 《日鉄の高炉休止記事》

先週から今週にかけての新聞各紙に、日本製鉄東日本製鉄所の鹿島地区で、2基ある高炉のうち1基を数年内に廃止する旨の記事が掲載されました。鉄鋼需要の減少や国際競争の影響から、生産体制を見直し、収益力を確保する狙いとされていますが、昨年4月から行われていたバンキングがこの1月に解消されたばかりであったことから、非常に驚いたところです。

ご承知のとおり、本市はこれまで製鉄業にかなりのウエイトで頼ってきており、多くの市民が製鉄関係に従事しております。そのようなことから、日本製鉄の情報収集に努めるとともに、茨城県や神栖市と連携し、高炉2基継続の可能性を探りながら、できうる対策を講じてまいりたいと考えております。

### 《新年度予算》

次に、本議会に提案いたしました令和3年度一般会計予算について、ご説明いたします。

令和3年度一般会計予算の編成に当たりましては、市民生活を守る上で必要となる最低限の予算を確保しつつ、複雑多様化する行政ニーズに柔軟に対応してい

くことに留意いたしました。そのためには、職員一人ひとりがこれまで以上に本市の将来に対する危機感を持ち、より効率的・効果的な施策展開を組織横断的に模索していくことが極めて重要であります。第三次鹿嶋市総合計画をはじめとする各種計画の推進や、鹿嶋市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる基本目標の達成に向けて取り組むとともに、新型コロナウイルス感染症予防のための「新しい生活様式」への対応やアフターコロナを見据えた施策など、特に重点化すべき事業を慎重に選定いたしました。

こうした基本的考え方のもとに編成いたしました令和3年度一般会計予算は、前年度比1.2%増の236億2,000万円となりました。

また、特別会計は7会計で、前年度比3.1%減の126億7,978万4千円、公営企業会計は2会計で、前年度比6.2%増の50億9,732万4千円となり、これらを合計した令和3年度鹿嶋市当初予算の総額は、前年度比で1億7,659万5千円増、率といたしまして0.4%増の413億9,710万8千円となりました。

#### （スポーツでつながるまちづくり）

来月14日、鹿行5市の連携事業となる「第3回茨城100kウルトラマラソン in 鹿行」が、参加ランナーはもちろんのこと、運営スタッフも新型コロナウイルス感染症予防対策を十分に講じて、実施されます。

新型コロナウイルス感染症の収束後には、さらなる誘客が見込める、地域を挙げてのビッグイベントになると確信しておりますが、今年は「東京2020オリンピック」が控えていることから、この絶好の機会を逃さず、国内外へスポーツや観光情報を発信し、市内への誘客につなげてまいります。

2021Jリーグは、いよいよ本日開幕です。鹿島アントラーズの初戦は、明日の27日、カシマスタジアムに清水エスパルスを迎えて行われます。コロナの影響で、スタジアムへの観戦者数制限もある中での開幕ですが、アントラーズの応援をよろしくお願いいたします。

#### （未来を創るひとづくり・まちづくり）

学校教育におきましては、国のGIGAスクール構想に基づき、現在、学校内無線LANの環境整備工事を行っており、併せて、児童生徒一人ひとりが積極的にICTを活用して主体的に学習できるよう、ひとり1台のノートパソコンの配置と普通教室への大型電子黒板の設置を準備しているところです。

これにより、これまでの学校での「学びのスタイル」は大きく変化し、全ての科目で主体的・対話的な授業や教育活動が広がるものと確信しております。

市では、包括連携協定を締結している鹿島アントラーズの協力の下、「キャリ

「アドバイザー」を中学校に派遣する計画を進めており、1月22日に、株式会社メルカリの小泉文明取締役会長と大野中学校2年生が、オンラインで意見交換を行いました。今回のモデル事業を検証し、とどまることなく変容する社会の中で、生徒たちが将来の夢や目標を持つきっかけになるよう、次年度以降も継続していきたいと考えております。

教育施設の老朽化は市の大きな課題の一つであり、計画的に大規模改造工事を行ってきております。今年度取り組んでおりました鹿島中学校の工事も1月中に無事完了いたしました。次年度は中野東小学校の改修を進めるべく、今回の3月補正にその予算を計上させていただいております。今後も計画に沿って、教育施設的环境充実を図ってまいります。

中央図書館は、空調整備改修工事のため、3月15日まで臨時休館としております。利用される皆様にはご不便をおかけしますが、御理解と御協力をお願いいたします。なお、新型コロナウイルス感染症予防対策として不要不急な外出の自粛要請も出ておりますが、その対応として、多くの電子書籍を用意して電子図書館の充実を図っておりますので、この機会にご利用いただきたいと思います。

結婚活動への支援につきましては、これまで意識の啓発や出会いの場の提供を行ってきたところですが、コロナ禍ということで、例年のようなイベントができない状況にあります。

そのようなことから、会員制によるパートナー探しの支援を行う「いばらき出会いサポートセンター」との連携により、オンラインによる婚活セミナーを実施することといたしました。

セミナーでは、「いばらき出会いサポートセンター」のマッチングシステムを知っていただくとともに、オンラインで悩み相談などを行うことで、新たなスタイルでの結婚活動の支援を進めてまいりたいと考えております。

#### **（地域資源を生かしたまちづくり）**

中心市街地の活性化につきましては、内閣府の認定を受けた鹿嶋市中心市街地活性化基本計画に基づき、取り組んでおります。

ハード面では、計画区域内の市道0213・5492号線の修景舗装設計と関鉄バスターミナル跡地に予定している駐車場の設計を実施しております。

ソフト面では、まちづくり鹿嶋株式会社が、昨年度に続き、2月12・13日に「日本博 in 鹿嶋」を実施しました。コロナ禍での開催で、感染予防対策を十分に講じたうえで、昨年より見学者を絞って行われましたが、楼門に映し出された荘厳かつ芸術的な映像や樹叢内のイルミネーションなどに感嘆の声が上がっていたと聞いております。このようなイベントのほか、空き店舗のマッチング事業

にも注力するなど、「持続可能なコミュニティの実現」を目指して活動していただいておりますので、引き続き連携を図り、賑わいづくりを推進してまいります。

### （住んで安心のまちづくり）

去る1月14日、株式会社VACAN（バカン）と「災害時避難施設に係る情報の提供に関する協定」を結びました。これは、鹿嶋市と鹿島アントラーズFCが協力して進めるスマートシティ推進事業の一環として取り組むもので、この協定により、災害発生時に避難所を開設した際、VACANのサービスを利用すれば、各避難所の混雑状況をリアルタイムに知ることができるようになりました。

今月13日深夜に発生した福島県沖を震源とする地震では、被害状況に合わせて、感染症対策を施した避難所の運営や消耗品等の配布の報道も目にしました。早速、担当部署へ備蓄状況等の確認をしたところですが、今後もこのような新たな手法の導入を含め、災害対応力の強化・充実に努めてまいります。

消費者行政につきましては、悪質商法や劇場型詐欺手口の巧妙化、インターネット端末の普及などにより、消費生活相談は増加傾向にあります。鹿嶋市におきましても、高齢者の架空請求詐欺の相談は依然として後を絶たず、インターネットトラブルによる相談の低年齢化も目立っています。

引き続き、消費生活センターを中心に、消費生活相談はもとより、未然防止に向けた啓発活動など、消費者行政の充実・強化に取り組み、安全で豊かな消費生活を送ることができる社会の実現を目指してまいります。

市では現在、令和3年度から5年度までを計画期間とした「第8期はつらつ長寿プラン21」を策定中です。団塊の世代全てが後期高齢者となる令和7年（2025年）及び高齢者数がピークとなる令和22年（2040年）までの中長期的な視点を見据え、本計画に位置付ける介護給付などの対象サービス提供体制の確保と地域支援事業の計画的な実施に取り組むとともに、地域包括ケアシステムが機能する地域づくりを目指してまいります。

現在の第7期の基本理念である『自分らしく充実した生活を送れる地域づくり』を継続し、限りある社会資源を効率的かつ効果的に活用し、医療、介護、介護予防と重度化防止、住まい及び自立した日常生活の支援が、包括的に確保される仕組みを地域の実情に合わせて推進してまいります。

併せまして、現在、「第2期21かしま障がい者プラン」の策定も進めております。これは、令和3年度から8年度までの6年間を計画期間とするもので、本市の障がい者施策の方針や、今後の障がい福祉サービスの必要量を見込んだ計画となっております。策定に当たりましては、学識経験者、相談支援事業者、福祉サービス事業者等で構成する地域自立支援協議会での議論を重ね、また市民アン

ケートや団体ヒアリングなどでご意見をうかがったところです。

次年度以降、本計画を着実に推進し、子ども・高齢者・障がい者等、全ての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り合うことができる地域共生社会の実現に向けて取り組んでまいります。

空家等対策につきましては、平成29年3月に「鹿嶋市空家等対策計画」を策定して対策の強化を図ってきましたが、増加する空家数の抑制と既存建築物の活用促進を目的として、新たに「既存ストック利活用事業補助金」を創設することにいたしました。

今回のコロナ禍により、働き方もだいぶ様変わりし、テレワークも増えてきました。このような観点も含め、利用されていなかった市街化区域内の空家の活用や流通を促進するとともに、まちづくり活動の拠点など、地域の活性化等に寄与する活用を支援する制度として推進してまいります。

#### （自立した信頼のあるまち）

マイナンバーカードの交付状況ですが、1月31日現在で、17,215件となっており、人口に占める交付率は25.4%になります。全国平均と比較いたしますと0.3%、県内平均とでは1.3%、それぞれ上回る状況にあります。

さらなる取得促進を図るため、地方公共団体情報システム機構が、昨年12月からまだカードをお持ちでない75歳未満の方に対して、QRコード付きのマイナンバーカード交付申請書を順次送付しております。これによりマイナンバーカードの申請が増加していることから、写真撮影とオンライン申請の補助が可能な専用端末を総合窓口課に増設し、円滑な窓口対応に努めております。

また、来月からは、マイナンバーカードが健康保険証として利用できる予定になっております。市内医療機関での利用は、もう暫くかかると聞いておりますが、そのようなことも踏まえ、一層の普及・啓発の取り組みを推進してまいります。

#### 《提出議案等》

次に、提出いたしました議案についてご説明いたします。

提出議案は、予算関係議案が17件、条例関係議案が12件、その他の議案が1件、道路関係議案が2件、報告議案が1件、合わせて33件であります。

まず、予算関係議案は、一般会計、特別会計及び公営企業会計に係る令和3年度当初予算が10件、令和2年度補正予算が7件であります。

令和3年度当初予算につきましては、先程ご説明申し上げましたとおりであります。

令和2年度一般会計補正予算は、特別定額給付金給付事業の減、教育・保育施設入所支援事業の減、小学校大規模改造事業の増などを計上しております。

次に、条例関係議案は、新たに制定するものが1件、改正するものが11件であります。

新たに制定する条例は、鹿嶋市工場立地法地域準則条例であり、改正する条例は、鹿嶋市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例などであります。

その他の議案は、字の区域及び名称の変更についてであります。

道路関係議案は、市道路線の認定についてなどであります。

報告議案は、専決処分の報告であり、新型コロナウイルス感染症対策に係る令和2年度一般会計補正予算であります。

私の説明は以上で終わりますが、予算以外の議案については、担当の総務部長から補足説明をさせていただきます。

お手元の議案書により御審議のうえ、適切な議決を賜りますようお願いいたします。